

講義タイトル	血液のはじまりを知る	学科名	臨床検査学科
		講師名	三島清司／教授
		専 門	血液検査学

概 要
血液は私たちの体を駆け巡り、生きていくために必要な酸素や栄養を隅々まで運び、二酸化炭素や老廃物を運び出しています。体重の約 8%を占め、その 1/3 が失われる（出血）と生命の危機となります。 この大切な血液を造っている場所が、骨の中心部にある骨髄です。ここに造血幹細胞という血液のもととなる細胞があり、周囲の環境からの影響を受けながら赤血球・白血球・血小板という 3 種類の血球を生産し続けます。一方、骨髄や造血幹細胞に異常があると様々な血液の病気となります。異常な造血幹細胞を正常な造血幹細胞と入れ替えること、それが骨髄移植です。 造血幹細胞についてはまだまだ分からないこともたくさんありますが、その分魅力的な細胞でもあります。造血幹細胞を知することは、血液の成り立ちや血液の病気の原因を解明するだけでなく、骨髄移植などの治療方法を発展させるためにも大変重要となります。